

電 設 新 聞

発行所
 (社)福島県電設業協会
 発行人 大槻賢彌
 〒960-8114
 福島市松浪町9-6
 (福島県電設協会館)
 TEL (024) 533-6226
 FAX (024) 533-6235
 編集印刷 南福島タイムズ社
 福島市御山字井戸上64-5

TOSHIBA
 明るく、
 スリムで、
 長寿命。
 天竺輪シリーズ
 東芝薄型照明器具
ネオスリムV
 東芝ライテック株式会社
 郡山営業所 TEL (024) 922-5511

石綿障害対策を進める

三団体と県が共催で説明会

石綿(アスベスト)による健康被害が社会問題化する中、(社)県建設業協会、当協会、(社)県空調衛生工業協会および県は、共催で「建築物の解体・改修に伴う石綿の取り扱い説明会」を八月二十九日から県内七カ所で開催した。建築設備の分野でも石綿が幅広く使われてきた経過があり、これらの建築物が今後、解体・改修の時期を迎えること、さらに七月から石綿障害予防規則が施行したことなどから関心が高く、千名を大幅に超える参加者となった。

ばく露防止を徹底

この説明会は、県北、県中、県南、相双、いわき、会津の六地域で当初計画されていたが、各会場とも申込者が定員を上



説明会では、福島労働局が建築物の解体・改修工事における石綿対策、県土木部建築指導グループが建設リサイクル法について、県の地方振興局が特定粉塵排出作業の届出と塵石綿等の適正処理について解説した。

上級者研修など準備

技術委員会の下期事業計画

第四回技術委員会が、九月二十日に協会会議室で開かれ十七年度下期の事業を協議した。

八巻正隆担当副会長をはじめ三浦光博委員長、新田一則副委員長、それに高橋武・高橋輝男・佐藤信夫・立原龍一・末永英隆の各委員が出席し、

研修事業等について意見を交換し、実施概要をまとめた。予定されている下期事業は次の通り。

1 上級者研修会
 「TP-BAS」が織り成す次世代BA(ビル・オートメーション)システム」をテーマに、十一月二十八日午後一時から郡山市のビッグパレットふくしまで開催。松下電工(株)より講師を迎えて講義と実演を行う。このシステムは公共施設においても導入のメリットが大きいことから、県及び市町村等へも参加を呼びかけることを検討する。

2 現場研修会
 県立平養護学校全面改築(校舎一期)電気設備工事を対象として検討す

る。今後、関係機関と協議し、協力を得ながら準備を進める。

3 県営繕担当職員との技術研修会
 十二月二十二日に開催予定。協会側の参加者は十五名程度とし、原則として四十歳未満の技術者(現場補助員クラスも可)とする。内容は、参加者が自ら定め運営することとする。このため事前の打合会を実施する予定。

国交省の優良工事
大槻電設ら3社
 福島と磐城で所長表彰

国土交通省福島河川国道事務所は、八月十日に福島市で平成十七年度事務所長表彰式を行い、個人功労者、優良業務・工事の施工者らを表彰した。このうち優良工事では、大槻電設工業(株)が国道四号福島北地区光ケーブル敷設工事で受賞した。

また、同日は福島河川国道事務所の事故防止対策委員会総会も開かれ、安全管理優良工事の表彰では、田村電設工業(株)が



旭電設が受賞
 相馬法務局の電気

国土交通省東北地方整備局の管轄工事表彰式が七月二十二日に仙台市で行われた。

このうち保全指導・監督長表彰には相馬法務局電気設備工事を施工した旭電設工業(株)が選ばれた。

民間ファイナンス活用
 PFI・CM勉強会開催

各地方自治体とも財政が厳しく、予算が圧縮される中、必要と思われる公共事業の実施も困難な状況にある。

このよう中で当協会は「ただ待っているだけでは仕事の受注はおぼつかない。我々から動き、少ない予算でも民間のファイナンスを利用して、事

地産地消月間スタート

県は、十月と十一月を「地産地消月間」に定め、実施要領をまとめた。

二十一世紀の新しい地域づくりにあたり、人、もの、情報等の交流と経済の循環を活性化させることが重要であることから、平成十四年の六月に「福島県地産地消推進プログラム」を策定し、以降県民相互の連携と協力による地産地消をあらゆる分野で展開している。

期間中は、イベントなどの周知・啓発事業を行うほか、市町村やその他の団体に対して、関連事業を行うよう協力を求める。このうち土木部では、建設資材などで県産材の優先使用及び県内企業からの調達に協力を呼びかけている。

ち八割以上は建材に使用されたことされている。今後、これらの建築物は寿命と共に解体されることになるが、そのピークは二〇二〇年から二〇四〇年ごろと予想されており、建築物解体作業時における石綿ばく露防止対策の徹底が求められている。

こうしたことから今年七月一日より石綿障害予防規則が施行され、石綿を使用した建築物などの解体・改修工事では、作業員への特別教育が義務づけられている。

と各支部から委員を推薦し、事業推進委員会を立ち上げた。

まず、PFI事業とは何か、理解するために勉強会を開催した。

八月三日にNPO日本PFI協会から植田和男専務理事を招き、「PFI事業及び事業推進について」と題した勉強会を行ったのに続き、翌四日には、日本CM協会東北担当理事の小菅哲氏を招いて「CM事業の推進」

National

実照広告

人の目には自然な明るさのまま、虫が集まりやすい光の波長だけをカット。

専用カバーによって、虫が集まりやすい光の波長をギリギリの範囲(410nm以下)までカット。虫の飛来を大幅に低減します。

【虫の目から見ると】
 光が暗く感じられることにより、虫が寄りにくくなります。

さらに侵入した虫はおびき寄せて捕獲。ムシベールと組み合わせることで、防虫効果がさらにアップします。

虫を寄せにくい光の「ムシベール」
 光に誘われて虫だらけの「一般照明器具」

低誘虫照明システム **ムシベール** シリーズ

虫を寄せにくくする。来た虫は捕獲する。

○商品に関するお問い合わせは、〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工(株)福島営業所 TEL.024-939-7731まで。
 National 松下電工、NAIS 松下電工は National ブランドに統一します。 松下電工

屋根材一体型太陽光発電

第20回 工事施工体験発表会より



嵐電気工事(株) 現場代理人

小澤 忠美

屋根が電池と一体

葺くことで設置が完了

はじめに

今回、工事施工体験発表会に取り上げます太陽電池一体型屋根の設置工事は、従来の架台設置型とは異なり、屋根全体を太陽電池と一体化した屋根材であり、葺くことで太陽電池の設置も完了するという物でした。

▽工期＝平成十五年十一月六日～平成十六年九月三十日
▽発注者＝いわき市長

メーカーと協議重ねる

【設計の変更】

屋根の割り振りでは、図面上でエントランスホールの屋根が太陽電池にかかるということ、かかっている部分の八枚中三枚と診療所側の軒先の

長さの変更に伴い、二枚の変更があり、計五枚の割り振り変更になりました。この五枚を空いている場所に移動し、エントランスの屋根にかかっている残りの五枚分の発電を補うために二枚追加して、計六百四十七枚に変更されました。

設計数量六百四十五枚、十五直列四十三回路・変更後数量六百四十七枚、十五直列四十一回路、十六直列二回路。

◎太陽電池一体型屋根の構造・特性

太陽電池一体型屋根は、屋根材がカラーアルミ屋根材に太陽電池を取り付ける形であり、太陽電池表面は強化ガラスで保護したものです。この強化ガラスは、一層の高さから硬式ボールを落として

も割れませんが、ドライバや先の尖ったものを落とすとすぐに割れてしまいます。屋根材と強化ガラスの間は、耐候性のシール剤を使用し、全周シールしてあります。太陽光発電設備の発電効率は、太陽電池からD

C/ACインバータに送る段階で発電量の八〇％に落ち、DC/ACインバータで交流に変換する際の効率が九〇％で、トータル発電量の七二％まで落ちてしまいます。主な損失原因としては、温度損失・ダイオード損失・ケーブル損失・インバータ損失が考えられます。実際、快晴時に発電量を確認したところ三四キロワットの発電がありました。

特性としては…
①高機能屋根と太陽電池をドッキングした完全な屋根一体型ソーラーな費用が軽減される

▽建築概要＝RC造平屋建て、延べ二、一五五・七〇㎡
▽太陽光発電の回路構成＝十五直列四十一回路、十六直列二回路(発表会資料の太陽電池割付図を参照)

商用電源と連系し売電可能な設備に

◎システムの構成、商用電源との連系

太陽光発電システムは、太陽の光を電気エネルギーに変換する発電機

です。直流電力をそのまま直流負荷に供給したり、パワーコンディショナで交流電力に変換し、太陽光発電の出力は、太陽の光の強さに比例します(夜間は発電しません)。

商用電源との連系システムは売電が可能です。電力会社は、昼間と夜間の電力消費バランスの是正及び昼間の電力ピークカットを太陽電池に期待しています。そのため、お客様が買う電力料金と

同じ料金で、売電ができる制度があります。商用電力連系システムは、システム効率が高く、太陽電池で発電した電気の利用率は七二％前後です。発電量＝システム容量×日射量×システム効率×三百六十五日、いわき市の年間平均日射量は一㎡あたり三、〇三〇キロワット、会津若松の平均は二、八五〇キロワット、全国平均は二、九九九キロワットです。メンテナンスが容易

で接続しないと保障できなくなるのが理由です。今回の工事は、建築の工程上六月後半の梅雨時期になってしまいました。太陽電池一体型屋根は、ケーブル接続(圧着・テーパー)があり、雨が降っていると接続不良になる恐れがあり、メーカーの保証がなくなり、一度見直し、反省する機会を与えて頂いた発表会関係者の方々にお礼を申し上げます。そして、この工事を体験をこれから

の工事に生かし、安全で円滑に進むよう努力していきたいと思っております。

今回の工事は当初、屋根葺きのみをメーカーに施工してもらい、その他は全て自社で施工しようと考えていましたが、メーカーとの打ち合わせの結果、太陽電池一体型屋根のケーブル接続はメーカーで施工することになりました。理由として、

今まで業者が施工した実績がないこと、メーカー

同じ料金で、売電ができる制度があります。商用電力連系システムは、システム効率が高く、太陽電池で発電した電気の利用率は七二％前後です。発電量＝システム容量×日射量×システム効率×三百六十五日、いわき市の年間平均日射量は一㎡あたり三、〇三〇キロワット、会津若松の平均は二、八五〇キロワット、全国平均は二、九九九キロワットです。メンテナンスが容易

で接続しないと保障できなくなるのが理由です。今回の工事は、建築の工程上六月後半の梅雨時期になってしまいました。太陽電池一体型屋根は、ケーブル接続(圧着・テーパー)があり、雨が降っていると接続不良になる恐れがあり、メーカーの保証がなくなり、一度見直し、反省する機会を与えて頂いた発表会関係者の方々にお礼を申し上げます。そして、この工事を体験をこれから

の工事に生かし、安全で円滑に進むよう努力していきたいと思っております。

今回の工事は当初、屋根葺きのみをメーカーに施工してもらい、その他は全て自社で施工しようと考えていましたが、メーカーとの打ち合わせの結果、太陽電池一体型屋根のケーブル接続はメーカーで施工することになりました。理由として、

今まで業者が施工した実績がないこと、メーカー

今回、この施工体験発表会を行うに、その際に回路番号・電圧・時間・転機を確認し、チェックリストに記入しました。天気をチェックしたのは、天気をより出力変動があるからです。

おわりに

今回、この施工体験発表会を行うに、その際に回路番号・電圧・時間・転機を確認し、チェックリストに記入しました。天気をチェックしたのは、天気をより出力変動があるからです。

おわりに

環境面からも最適なシステムです。当社は、太陽光発電設備を施工するのは、はじめてでしたので東北電力の申請書類の作成に相当の時間を費やしました。商用電源との連系があり、今回の製品は認定登録を受けていませんでしたので、製品の技術資料を添付しました。書類の枚数にして百六十枚くらいあり、メーカーとも綿密な打ち合わせをし、無事届出を終了しました。

今回の工事は、建築の工程上六月後半の梅雨時期になってしまいました。太陽電池一体型屋根は、ケーブル接続(圧着・テーパー)があり、雨が降っていると接続不良になる恐れがあり、メーカーの保証がなくなり、一度見直し、反省する機会を与えて頂いた発表会関係者の方々にお礼を申し上げます。そして、この工事を体験をこれから

の工事に生かし、安全で円滑に進むよう努力していきたいと思っております。

今回の工事は当初、屋根葺きのみをメーカーに施工してもらい、その他は全て自社で施工しようと考えていましたが、メーカーとの打ち合わせの結果、太陽電池一体型屋根のケーブル接続はメーカーで施工することになりました。理由として、

今まで業者が施工した実績がないこと、メーカー

今回、この施工体験発表会を行うに、その際に回路番号・電圧・時間・転機を確認し、チェックリストに記入しました。天気をチェックしたのは、天気をより出力変動があるからです。

おわりに

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL(0246)25-6111 FAX25-6101

営業所

白河	TEL(0248)27-3385(代)
須賀	TEL(0248)72-7136(代)
河川	TEL(024)952-5455(代)
賀西	TEL(024)923-3298(代)
山南	TEL(024)939-3081(代)
郡山	TEL(024)37-2660(代)
北山	TEL(0244)22-5105(代)
津北	TEL(0244)35-1234(代)
会津	TEL(024)546-3700(代)
原馬	TEL(024)553-1181(代)
相馬	TEL(0246)28-6111(代)
福島	TEL(0246)62-3122(代)
福島	TEL(0246)62-3122(代)
いわき	TEL(0246)62-3122(代)
南米	TEL(0246)62-3122(代)
勿来	TEL(0246)62-3122(代)

茨城県内・千葉県内・埼玉県内・栃木県内・新潟県内29カ所
住設建材営業所 6カ所

ディーゼル発電機 ガスタービン
コージェネレーションシステム

ヤンマーエネルギーシステム

いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一
TEL(0246)581-5811
FAX(0246)581-5688

FA・OAのシステムプランナー

株式会社ニノテック

代表取締役社長 樽川次男

本社 〒963-8034 郡山市島二丁目44-2
Tel(024)935-1700(代)

支店 仙台
営業所 いわき 福島 宇都宮
出張所 棚倉
事務所 東京

換気扇・照明器・空調機・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社

福島電材支店
福島冷住支店

TEL(024)959-6060
FAX(024)959-6066

労災保険・雇用保険
10月は加入促進月間です

加入手続きの確認を!

〈福島労働局〉

県南方部

日常の課題を協議

建設事務所と意見交換会

平成十五年より恒例となりました県南建設事務所建築住宅部の部長を始め専門建築技師、主任電気技師を講師に迎えて電設業協会白河支部、白河地区管工事協同組合施工管理技士会、県設備設計事務所協会県南支部との顔合わせを兼ねた意見交換会が八月五日、ホテルサンルート白河において参加者二十七名にて開催されました。

はじめに当支部の石川支部長が、中央と地方の経済格差について「厳しい条件の中を官民に関わることなく勉強の成果を生かして、研鑽を重ねること存在感を示すことが今、我々業界の使命ではないかと考えるところ」と挨拶した。

続いて、但野部長より「公共事業を取り巻く最近の状況について」と題して、①「営繕工事に係る動き」として環境負荷の少ない県有施設の整備指針、建築関係工事積算基準、建築・設備工事共通仕様書の改訂について、橋梁談合について、入札制度の見直しについて、管理・監督の徹底について、続いて②公共事業予算として二〇〇五年度の建設投資の見通し、二〇〇六年度予算について、国の歳出額の推移、公共事業の推移について、③「今後のトレンド」と題して耐震改修、住宅リフォーム、アスベスト対策について講義していただきました。



これらの内容につきましては普段我々が抱える点と、知りたいと思っいる事項なので参加者全員が真剣に講義を受けていました。

引き続き次の議題として三団体からの質疑応答に入り、回答では佐久間主任電気技師が、PCB含有する絶縁油を使用

協会の動き

※本部行事のみ掲載

- 【8月】
- 1日・第3回技術委員会(郡山市)
 - ・平成17年度技術講習会(郡山市)
 - ・平成17年度安全大会(郡山市)
 - 2日・県の法人検査(協会)
 - 3日・PFI事業推進講習会(協会)
 - 4日・設備3団体活性化委員会小委員会に専務が出席(協会)
 - ・CM事業推進講習会(協会)
 - ・第4回総務委員会(協会)
 - 5日・(財)県建設産業団体連合会「建産連」参与会に専務理事が出席(福島市)
 - 10日・平成17年「道の日」清掃作業に会員が参加
 - 11日・第2回正副会長会議(協会)
 - 12日・あづま総合運動公園指定管理者申請に係る懇談会に専務が出席(福島市)
 - 19日・会長らが業務打ち合わせ(協会)
 - 22日・7月度会計審査業務(協会)
 - 25日・設備3団体活性化委員会に三浦委員と専務が出席(協会)
 - ・全国建設産業団体連合会総務委員会に松崎相談役が出席(東京都)
 - 29日・建築物の解体・改修に伴う石綿取り扱い説明会(会津若松市)
 - 31日・建築物の解体・改修に伴う石綿取り扱い説明会(福島市)

- 【9月】
- 2日・建築物の解体・改修に伴う石綿取り扱い説明会(いわき市)
 - 5日・建築物の解体・改修に伴う石綿取り扱い説明会(白河市)
 - ・耐震調査に伴う打合せ(建設センター)
 - 7日・建築物の解体・改修に伴う石綿取り扱い説明会(富岡町)
 - 9日・建築物の解体・改修に伴う石綿取り扱い説明会(郡山市)
 - 13日・松崎前会長退任に伴うゴルフコンペ退任慰労会(いわき市)
 - ・建産連参与会に専務が出席(福島市)
 - ・建産連第76回役員会に会長が出席(福島市)
 - ・県設備設計事務所協会ゴルフコンペ(岩瀬村)
 - 20日・第4回技術委員会(協会)
 - ・9月度会計審査業務(協会)
 - ・建産連正副会長会議に会長が出席(福島市)
 - ・平成18年度予算編成に対する要望聴取会に会長が出席(県庁)
 - 21日・(財)日本電設工業協会理事會に会長が出席(東京都)
 - 26日・建築物の解体改修に伴う石綿の取り扱い説明会(郡山市)
- ご意見をお寄せください
- 社団法人 福島県電設業協会
〒960-8114 福島市松原町9-6
TEL:024(533)6226 FAX:024(533)6235
E-mail:fukudensethukyo@syd.odn.ne.jp
http://www.fukudensethukyo.or.jp



松崎前会長退任慰労会

先にと退任された松崎前会長の五期十年にわたるご尽力に感謝し、当支部は九月十三日に慰労会を開催しました。当日はいわき支部会員のみなならず大槻会長はじめ、共に活躍された役員ほかの皆様にもご賛同いただき五十名を超えるご参加をいただきました。

第一部は猛烈な残暑の中、難しいグリーンを相手にサラブレッドCCにてゴルフコンペに汗を流し自慢の腕を競いました。優勝は塩秀次氏(風電気工事)、準優勝は壁谷沢忠夫氏(エディンソン)、三位は目黒勝氏(目黒工業商會)でした。

第二部は、いわきワシントンホテルに移って慰労会を行い、坂本支部長、大槻会長、木下設備設計協会会長のご挨拶、斎藤正良元副会長による乾杯に続いて松崎前会長から長年にわたるご苦労やエピソードが披露されました。一同感慨深く拝聴するとともに改めて感謝の念を深くし、前会長の今後ますますのご活躍を祈念し閉会としました。(クレハ電機(株)・浜田和夫)

地域基盤の整備を

県建産連が県予算要望

(財)県建設産業団体連合会(佐藤勝三会長)は九月二十日、平成十八年度

設計委託の電子入札に
ついて、設計委託受注時期について、公表単価の取り扱いについて(質問・設備設計事務所協会)等の質問に回答をいただきました。

これらの質問について参加者からも様々な経験談や意見も出されて盛況の内に白河管工事協同組合小田理事長の閉会の挨拶で終了しました。

白河支部 相尊恵一

月二十日、平成十八年度県予算編成を前に開かれた県議会各党の要望聴取会で、災害に強い県土づくりに向けた社会資本整備

している電気工作物についての処理と対策について、現場で発生した産業廃棄物の少量運搬について、盤類の製造者仕様の使用について承諾書に規格(JIS、JEM)を入れる必要性について、太陽光発電の管内の普及率について(質問・電気工事施工管理技士会)。

これからの質問について賢彌会長が参加した。建産連の佐藤会長は①地域生活者の安全・安心・健康と自立生活を促進するための環境・社会基盤整備の少子化対策、子育て支援の観点からの環境条件整備③道路特定財源の堅持と幹線交通網の整備④適正取引の推進と品確法の実施⑤農業農村整備事業の積極的な推

進⑥分離発注の促進⑦地産地消の推進と地元建設産業界の育成⑧港湾及び漁港の整備促進一を求めた。

特に、地域住民の安全・安心に関しては重点を置いた。

今回の要望聴取会には、佐藤会長をはじめ副会長団体の代表が参集し、当協会からは、大槻賢彌会長が参加した。

「いわき市建築電気設備技術研修会」の主催は、いわき地区電気工事協同組合といわき電設業協会一でした。お詫びし訂正致します。

「いわき支部だより」の「いわき支部だより」の記載に誤りがありました。

お詫びと訂正

前号(二二八号)の「いわき支部だより」の記載に誤りがありました。

KOTO
安全と快適を求めて

交通管制システム/道路気象観測システム
交通信号機/道路情報表示システム

小糸工業株式会社

東北支店 TEL:022-225-7501 FAX:022-267-5053

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ワイム

株式会社山形電機製作所
福島営業所 所長 渡辺良邦

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101
TEL(024)546-1321 FAX(024)546-1322
支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工場/山形・北海道千歳

配分電盤メーカー

営業品目 屋内外キュービクル・高低圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤

KATEX
電機事業部
加藤鉄工株式会社 (旧 福陽電機製作所)

〒960-8001 福島市天神町10-41
TEL 024-534-1528(代) FAX 024-533-8590
本社/〒960-8201 福島市岡島字作田入1-2福島工業団地
TEL 024-534-2111 FAX 024-533-7155

つづく未来につづけるエネルギー

- ◎自家用発電装置・CVCF発電装置 設計・販売・据付・保守点検・整備
- ◎コージェネレーションシステム
- ◎直流電源装置・バッテリー交換
- ◎負荷試験・保護継電器・絶縁耐圧試験

株式会社 機電エンジニアリング

〒963-8845 福島県郡山市名倉247番地の1
TEL 024-946-0094
FAX 024-946-1394
http://www.kiden21.com

安全と信頼

日本信号株式会社

■営業品目 ●交通信号製品 ●駐車場機器製品
●入退館システム

■東北支店
〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)
TEL(022)261-8371(代) FAX(022)225-4627

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎(024)934-0859
FAX(024)934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

協会支部だより

福島支部

「協会の進路」

新聞などでは、景気について上向きになっているとの発表があります。それは一部上場企業にとどまり、我々建設業は公共事業予算の削減により、発注量の減少、さらに民間工事のたたき合い激化で原価割れの工事をするようになり、赤字の増加から資金繰りの悪化へと繋がりが、著しく厳しい状況が続いております。

郡山支部

初めての投稿に際し

衆議院の突然の解散により、八月三十一日公示、九月十一日投票。結果としては、議員議席三分の二を獲得した自由民主党が大勝を収め、郵便事業の民営化及び行政改革の前進に拍車をかけることとなりそうです。

白河支部

方部独自の行事

今回、福島県建設業協会総会の役員改選により、新会長に大槻賢彌氏（大槻建設工業株式会社代表取締役）、また、前会長の松崎勉氏（大和電設工業株式会社代表取締役）が相談役に就任され

相双支部

相双支部

今回の選挙結果から、公共事業の増加はあまり期待できず、我々協会が新たな方策を打ち出さねば生き残れないと考へざるを得ません。

会津支部

親睦旅行を計画

新分野への進出、企業統廃合、リストラによる経費削減等、厳しい現在に真剣に、また早急な決断が必要と思われます。

編集後記

編集後記

平成十七年度春の改選時に広報担当副会長に任命され梅澤委員長他五名の委員の方々と二年間、協会の広報を担っていただくことになりました。協会

合同研修会を開催

合同研修会を開催

さる九月十五日に当協会相双支部と伊東空調衛生工事業協会浜通り支部合同による研修会が原町市の「和風亭」のゆで開催されました。研修会には県の相双建設事務所から齋藤幸太郎建築住宅部長をはじめ四名の方

会津支部

親睦旅行を計画

今年例年になく雪が多く、先人の方々が言い伝えられる「西の山に雪が多い時は、春の訪れが遅い」ということわざ通り、梅雨も二週間近く遅れ、梅雨期も降雨量が少なく梅雨らしい梅雨が来ないまま七月が過ぎました。

白河支部

方部独自の行事

八月五日に十七年度県南方部建築設備技術意見交換会をホテルサンルート白河で当協会白河支部、白河地区管工事協同組合、県設備設計事務所協会の三団体の協賛により開催いたしました。県

郡山支部

初めての投稿に際し

衆議院の突然の解散により、八月三十一日公示、九月十一日投票。結果としては、議員議席三分の二を獲得した自由民主党が大勝を収め、郵便事業の民営化及び行政改革の前進に拍車をかけることとなりそうです。

白河支部

方部独自の行事

八月五日に十七年度県南方部建築設備技術意見交換会をホテルサンルート白河で当協会白河支部、白河地区管工事協同組合、県設備設計事務所協会の三団体の協賛により開催いたしました。県

相双支部

相双支部

今回の選挙結果から、公共事業の増加はあまり期待できず、我々協会が新たな方策を打ち出さねば生き残れないと考へざるを得ません。

会津支部

親睦旅行を計画

今年例年になく雪が多く、先人の方々が言い伝えられる「西の山に雪が多い時は、春の訪れが遅い」ということわざ通り、梅雨も二週間近く遅れ、梅雨期も降雨量が少なく梅雨らしい梅雨が来ないまま七月が過ぎました。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人 東北電気保安協会

福島事業本部 福島市置賜町1-29 TEL (024) 528-9366	福島事業所 福島市泉字南谷地5-6 TEL (024) 557-2161	原町事業所 原町市上波佐字原田432-1 TEL (0244) 22-3568	郡山事業所 郡山市富田町福川原1 TEL (024) 932-6054	白河事業所 白河市東三坂山2-47 TEL (0248) 22-6066	いわき事業所 いわき市好間町上好間字洞42-1 TEL (0246) 36-1177	若松事業所 会津若松市北町大字上荒久田字村北147 TEL (0242) 32-3350	須賀川事業所 南会津郡田島町大字田島字大坪490-1 TEL (0241) 62-4847	須賀川事業所 須賀川市大字西川字後田78-5 TEL (0248) 72-9120
--	--	---	---	--	--	--	---	---

電気技術総合コンサルタント！！

自家用電気施設のごことは、お気軽に、ご相談下さい。

社団法人 東北電気管理技術者協会

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目1-11アレーザ仙台ビル TEL (022) 261-6015	福島支部 伊達郡川俣町飯坂字戸ノ内5-3 TEL (024) 566-3087	福島電気管理センター 安達郡安達町油井字漆原町42 TEL (0243) 22-2674	郡山電気管理センター 郡山市日和町字日向84-5 TEL (024) 958-5203	会津電気管理センター 河沼郡河東町大字谷沢字十文字53 TEL (0242) 75-2518	相双電気管理センター 原町市仲町一丁目157 TEL (0244) 22-2817	白河電気管理センター 西白河郡東村大字釜子字枇杷山68-3 TEL (0248) 34-2205	いわき電気管理センター いわき市平字堂ノ前18 TEL (0246) 21-9828
---	---	--	---	--	---	--	--

高効率、高演色、省エネのセラルクス！！

セラミックメタルハライドランプ **CERALUX**

70W・150W・250W・400W

岩崎電気株式会社 <http://www.iwasaki.co.jp/>

郡山営業所/〒963-8046 郡山市町東3丁目103番 TEL.024(961)2292

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13
TEL (022) 783-8181

■福島営業所/福島市瀬上町字桜町3丁目12-3	TEL (024) 553-8551代
■郡山営業所/郡山市大槻町下町東52	TEL (024) 961-6667代
■いわき営業所/いわき市鹿島町御代大一田1-1	TEL (0246) 76-1055代
■原町営業所/原町市北原字本屋敷153	TEL (0244) 23-6106代
■相馬営業所/相馬市椎木字北原104-1	TEL (0244) 35-6350代

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北電材社

福島支店	TEL (024) 553-4165
福島営業所	TEL (024) 553-4165
開発営業所	TEL (0244) 36-8901
郡山営業所	TEL (024) 934-3065
相馬営業所	TEL (0248) 21-0360
白河営業所	TEL (0246) 75-0700
いわき営業所	TEL (0246) 75-0700

技術と信用を誇る
電気、機械の総合メーカー！！

DAIZEN

(販売元) **大然総業株式会社**
(製造元) **大全電機株式会社**

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL (022) 288-0701代 FAX (022) 288-0705